

都市再生整備計画 事後評価シート  
鳥屋野小学校周辺地区

平成22年12月

新潟県新潟市

様式2-1 評価結果のまとめ

都道府県名	新潟県		市町村名	新潟市		地区名	鳥屋野小学校周辺地区			面積	512ha	
交付期間	平成18年度～平成22年度		事後評価実施時期	平成22年度		交付対象事業費	3,980百万円	国費率	0.40			
1)事業の実施状況	当初計画に位置づけ、実施した事業		基幹事業	(都)網川原線の道路整備、(主)新潟小須戸三条線他1路線の歩道整備、(市)南4-4号線他4路線のカラー舗装、(市)紫竹山鳥屋野線他9路線の交差点改良、(市)南4-1号線他10路線のL型側溝整備								
			提案事業	交通安全活動推進事業								
	当初計画から削除した事業		基幹事業	なし		削除/追加の理由			削除/追加による目標、指標、数値目標への影響			
			提案事業	なし		-			-			
	新たに追加した事業		基幹事業	(都)寄居浜女池線の道路整備、(都)新潟小須戸線他3路線の歩道整備、(市)南4-44号線他6路線のL型側溝整備		事業計画精査による事業の追加			目標達成のための追加措置であるため、指標および数値目標は据え置く			
			提案事業	なし		-			-			
交付期間の変更		当初	平成18年度～平成22年度		交付期間の変更による事業、指標、数値目標への影響			-				
		変更	-		-			-				
2)都市再生整備計画に記載した目標を定量化する指標の達成状況	指標		単位	従前値	目標値	数値		目標達成度	1年以内の達成見込み	効果発現要因(総合所見)	フォローアップ予定時期	
				基準年度	目標年度	モニタリング	評価値					
	指標1	交通安全施設整備済みの通学路利用率	%	59	平成17年度	92	平成22年度		○	あり	事業期間中に完了した事業により、目標値に達した。また、通学路の見直しが行われたため、全ての児童が整備済みの通学路を通学することとなった。	平成23年4月
	指標2	安全対策が必要な交差点の改良率	%	0	平成17年度	100	平成22年度		○	あり	安全対策が必要な交差点について事前把握を適切に行い、事業期間中に危険箇所が改良が実施され、目標値に達することができた。	平成23年4月
指標3	住民満足度	%	幹線道路:9 生活道路:2	平成17年度	幹線道路:15 生活道路:10	平成22年度	幹線道路:21 生活道路:8	△	あり	地区幹線の整備が完了しておらず、流入交通や通過交通の円滑な集散が不十分だが、幹線道路については目標を達成し、アンケートにより、新潟小須戸三条線の歩道が広がったことで、徒歩や自転車での通行しやすくなったという意見が見られた。	平成23年5月	
									なし	●		
3)その他の数値指標(当初設定した数値目標以外の指標)による効果発現状況	指標		単位	従前値	目標値	数値		目標達成度	1年以内の達成見込み	効果発現要因(総合所見)	フォローアップ予定時期	
				基準年度	目標年度	モニタリング	評価値					
	その他の数値指標1	生活改善度	%	/	/	/	/	66	/	/	住民の要望に則した整備計画により、過半数の住民が「暮らしやすいまちになった」としたが、更なる歩車分離を望む声が見られる。	平成23年5月
その他の数値指標2	交通事故発生件数	件	78	平成18年度	/	/	74	/	/	事故発生件数は減少している。事業中の地区内幹線道路整備により更なる効果が期待できる	平成24年5月	
4)定性的な効果発現状況	アンケートにより、新潟小須戸三条線の歩道が広がったことで、徒歩や自転車での通行しやすくなったという意見が見られた。											
5)実施過程の評価	実施内容			実施状況								今後の対応方針等
	モニタリング	なし		都市再生整備計画に記載し、実施できた 都市再生整備計画に記載はなかったが、実施した 都市再生整備計画に記載したが、実施できなかった								
	住民参加プロセス	学校関係者や住民の参加のもと現地確認を行い、問題抽出と対策実施の確認を行う交通安全総点検を実施する。		都市再生整備計画に記載し、実施できた 都市再生整備計画に記載はなかったが、実施した 都市再生整備計画に記載したが、実施できなかった								● 必要に応じて、今後も適宜同様の交通安全総点検を行う。
	持続的なまちづくり体制の構築	地域住民の参加した交通安全環境の創出の取組みの交通安全活動推進事業を行った。		都市再生整備計画に記載し、実施できた 都市再生整備計画に記載はなかったが、実施した 都市再生整備計画に記載したが、実施できなかった								● 必要に応じて、鳥屋野小学校や教育委員会と協議を行い、継続的な活動を行う。

## 様式2-2 地区の概要

### 鳥屋野小学校周辺地区(新潟県新潟市) 都市再生整備計画事業の成果概要

まちづくりの目標	目標を定量化する指標	従前値	目標値	評価値	
鳥屋野小学校や新潟第2地方合同庁舎、市民病院の移転改築などによる交通量増加に対応した、地域住民のための安全・安心で快適な地域環境の創出。 ◇目標1. 新・鳥屋野小学校の移転改築に伴う、安全で安心できる通学路環境の創出。 ◇目標2. 生活道路への通過交通の流入抑制や速度抑制による、歩行者の安全性・快適性向上。 ◇目標3. 新潟第2地方合同庁舎や市民病院の移転改築に伴い、住宅地区内の都市環境を確保するための地区幹線道路網の形成。	交通安全施設整備済みの通学路利用率	59 H17	92	H22 100	
	安全対策が必要な交差点の改良率	0 H17	100	H22 100	
	住民満足度	幹線道路:9 生活道路:2	H17	幹線道路:15 生活道路:10	H22 幹線道路:21 生活道路:8
	生活改善度			-	H22 66
	交通事故発生件数		78	-	H22 74
					H22

#### 【主要な交通安全対策】



道路有効幅員拡大



歩道整備



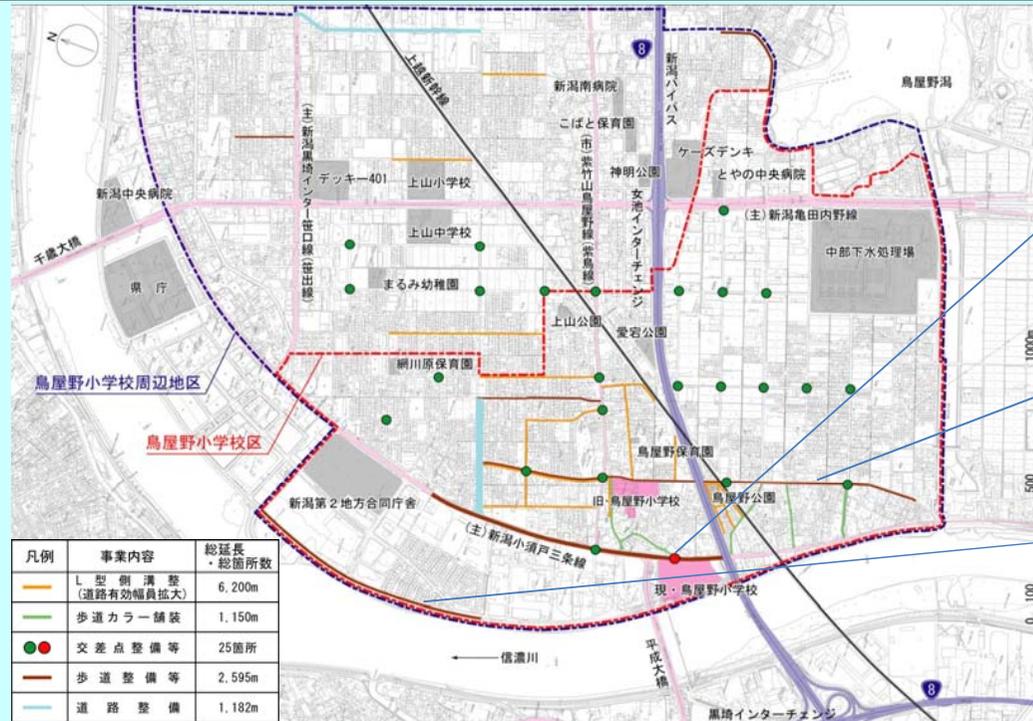
歩道カラー舗装



道路整備



交差点整備



立体横断施設整備



スムーズ横断歩道



歩道舗装修繕  
案内版・休憩施設整備

まちの課題の変化	交通安全対策の実施により、以前より「暮らしやすいまち」となり、住民満足度は向上したものの、生活道路の満足度は依然として低い。要因の1つとして、(都)網川原線や(都)寄居浜線といった地区幹線の整備が完了していないために、地区内の流入交通や通過交通が減少していないことが挙げられる。また、アンケートではさらなる歩道整備やガードレール設置等の要望が見られた。
今後のまちづくりの方策(改善策を含む)	(都)網川原線や(都)寄居浜線といった地区幹線の整備を完了させ、地区内の流入交通や通過交通を安全かつ円滑に集散させる。これとこれまでに完了した交通安全対策との相乗効果により、生活道路に対する住民満足度の向上を目指す。 また、必要に応じて歩道整備やガードレールの設置等を行い、歩行者の安全性を向上させる。